

注意

百日咳と診断された人が 増えています！

百日咳は、百日咳菌が気道に感染して起こる呼吸器感染症で、しつこい咳が特徴です。

子どもが感染した場合、普通の風邪症状から始まり次第に咳が激しくなります。発作性に連続で咳き込んだ後、ヒューという笛のような大きな音をたてて息を吸う様子が特徴的で、この咳は2～3週間ほど続きます。熱は微熱か、ないこともあります。

ワクチン未接種の乳幼児が感染した時には、重症化することも珍しくありません。

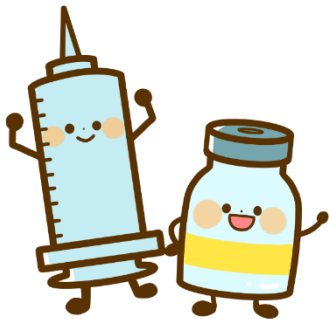
成人の百日咳は、咳が長引きますが特徴的な発作性の咳はみられず回復に向かうため、診断が見逃されがちです。しかし、菌の排出はあるためワクチン未接種の新生児・乳児への感染源として注意が必要です。



予防のためには、ワクチン接種が効果的です。

五種混合（ジフテリア、百日咳、破傷風、不活化ポリオ、Hib）ワクチンを、生後2ヶ月以上90ヶ月未満で4回接種します。百日咳ワクチンの免疫効果は4～12年で減弱し、最終接種後、時間の経過とともに既接種者も感染することがあります。

1歳未満で百日咳にかかると重症化しやすいので、生後2ヶ月になったらなるべく早くワクチン接種をしましょう。



百日咳の感染経路は飛沫感染と接触感染で、コロナやインフルエンザと同じです。

日常的な感染対策も基本的に同じで、咳エチケットと手洗いをしっかり行うことが大切です。

咳が続く方は、早めに受診しましょう。



国立健康危機管理研究機構ホームページに、疾患についての詳しい情報が載っています。
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/pertussis/010/index.html>

